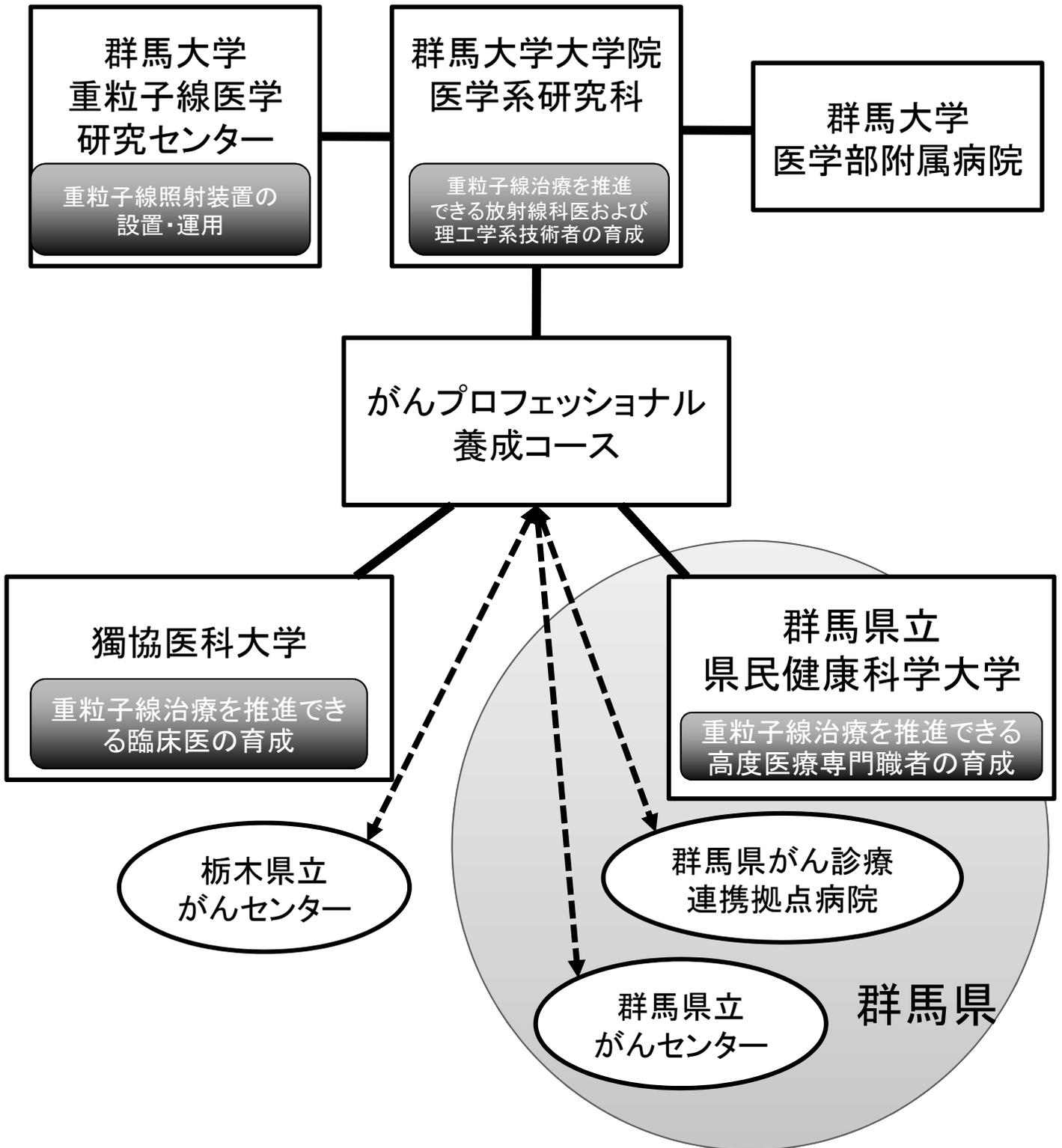


資料10 北関東域連携がん先進医療人材育成プラン 組織体制の概要(平成21年)



資料11 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」



活動の3本の柱

- A) 医歯薬看の分野横断的研究
- B) 放射線、粒子線医療人養成
- C) がんプロe-learningクラウド

資料12 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」 教育コース

筑波大学をリーダー校として、群馬大学及び茨城県立医療大学と連携して放射線技術系人材(医学物理士、放射線治療品質管理士、放射線治療専門放射線技師)を育成

国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コースと
実践型粒子線治療人材養成コース(インテンシブ)を担当

| 大学院コース | 筑波 | 千葉 | 群馬 | 埼玉 医科 | 日本 医科 | 獨協 医科 | 茨城 県立 | 群馬 県立 |
|----------------------------|----|----|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 国際協力型 腫瘍外科学 指導者コース | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 国際協力型 集学的臨床腫瘍学 指導者コース | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 国際協力型 放射線・粒子線腫瘍学 指導者コース | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | |
| 国際協力型 包括的がん治療・ケア医療者・指導者コース | ○ | ○ | | ◎ | ○ | | | |
| 国際協力型 高度実践看護学(がん看護)コース | ○ | ◎ | ○ | ○ | | | | |
| 国際協力型 がん薬学研究 指導者コース | ○ | ◎ | ○ | | ○ | | | |
| 国際協力型 先端医療医学物理学 指導者コース | ◎ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 国際協力型 がん医療開発研究 指導者コース(臨床) | | ○ | | | ◎ | | | |
| 国際協力型 がん医療開発研究 指導者コース(基礎) | ○ | | ◎ | ○ | ○ | | | |
| インテンシブコース | 筑波 | 千葉 | 群馬 | 埼玉 医科 | 日本 医科 | 獨協 医科 | 茨城 県立 | 群馬 県立 |
| がんの口腔ケアコース | ○ | ○ | ○ | | | ◎ | | |
| 総合がん治療医療人養成コース | | | ◎ | ○ | | | | |
| がん緩和ケア多職種養成コース | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | | |
| がん指導薬剤師養成コース | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 実践型粒子線治療人材養成コース | ◎ | | ○ | | | | ○ | ○ |

◎：リーダー校 ○：設置校

資料13 群馬がん治療技術地域活性化総合特区の概要

～高度な医療技術、医療人材、ものづくりが集まる医療産業拠点へ～

「総合特区制度」は、先駆的な取組を行う区域に国と地域の政策資源を集中させ、国際競争力の向上や地域力の向上を図ることを目的とした制度です。

群馬県は平成25年9月13日に「群馬がん治療技術地域活性化総合特区」の指定を受けました。

本特区では、世界最先端のがん治療技術である重粒子線治療を中核として、がん医療にかかる研究開発、医療人材の育成並びに医療分野へのものづくり企業の参入促進、外国人医療観光の推進に取り組み、「がん医療産業拠点」の形成を目指します。

【1】世界最先端のがん医療技術を創出する「がん医療研究開発拠点」

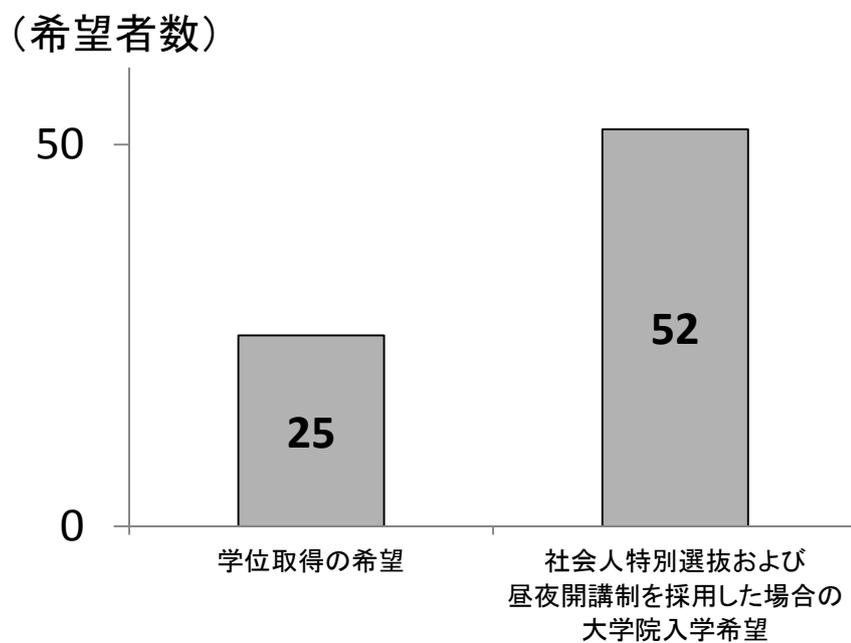
【2】質の高いがん医療人材を育成する「がん医療人材育成拠点」

【3】医療関連企業が集積するがんを中心とした「医療産業拠点」



群馬県全域を指定区域とする特区

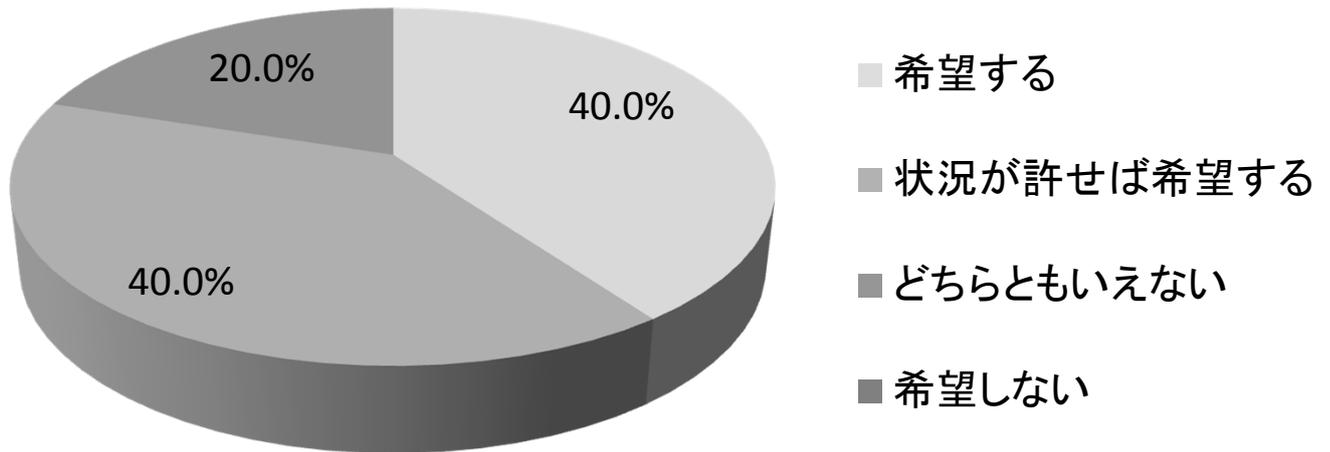
資料14 社会人の学位取得希望状況



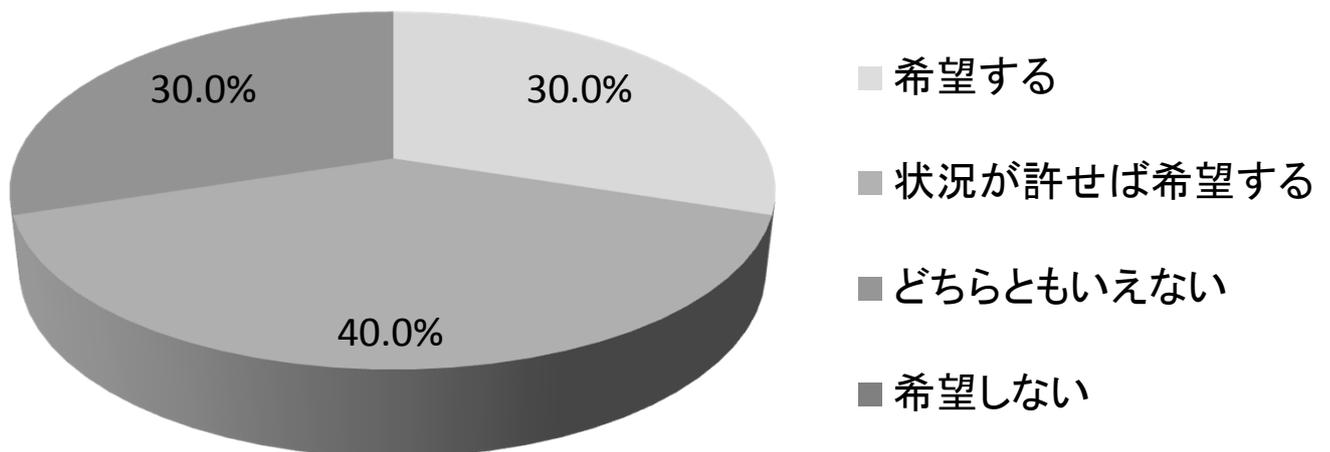
(対象:群馬県診療放射線技師会会員:平成18年4月～10月実施)

資料15 本学研究科修士課程修了者へのアンケート調査結果(平成26年)

大学院博士後期課程への進学希望(他大学院を含む)

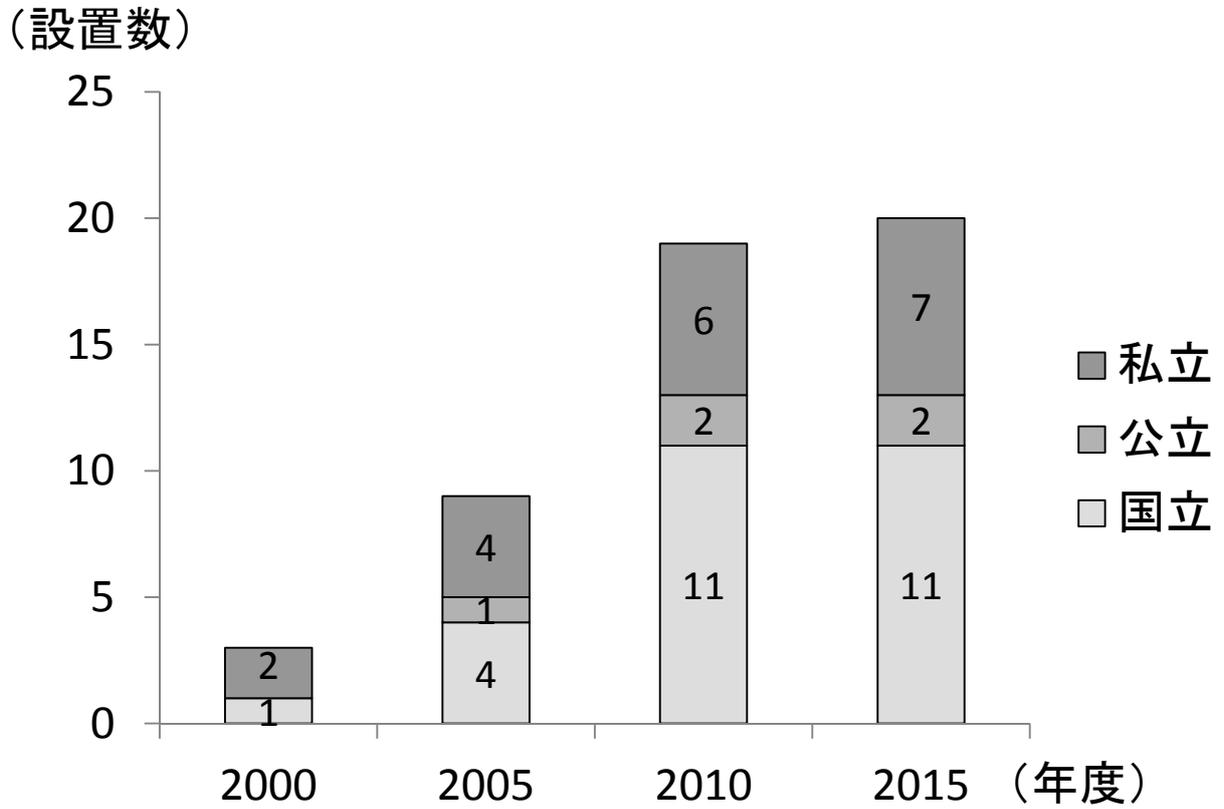


本学大学院博士後期課程への進学希望

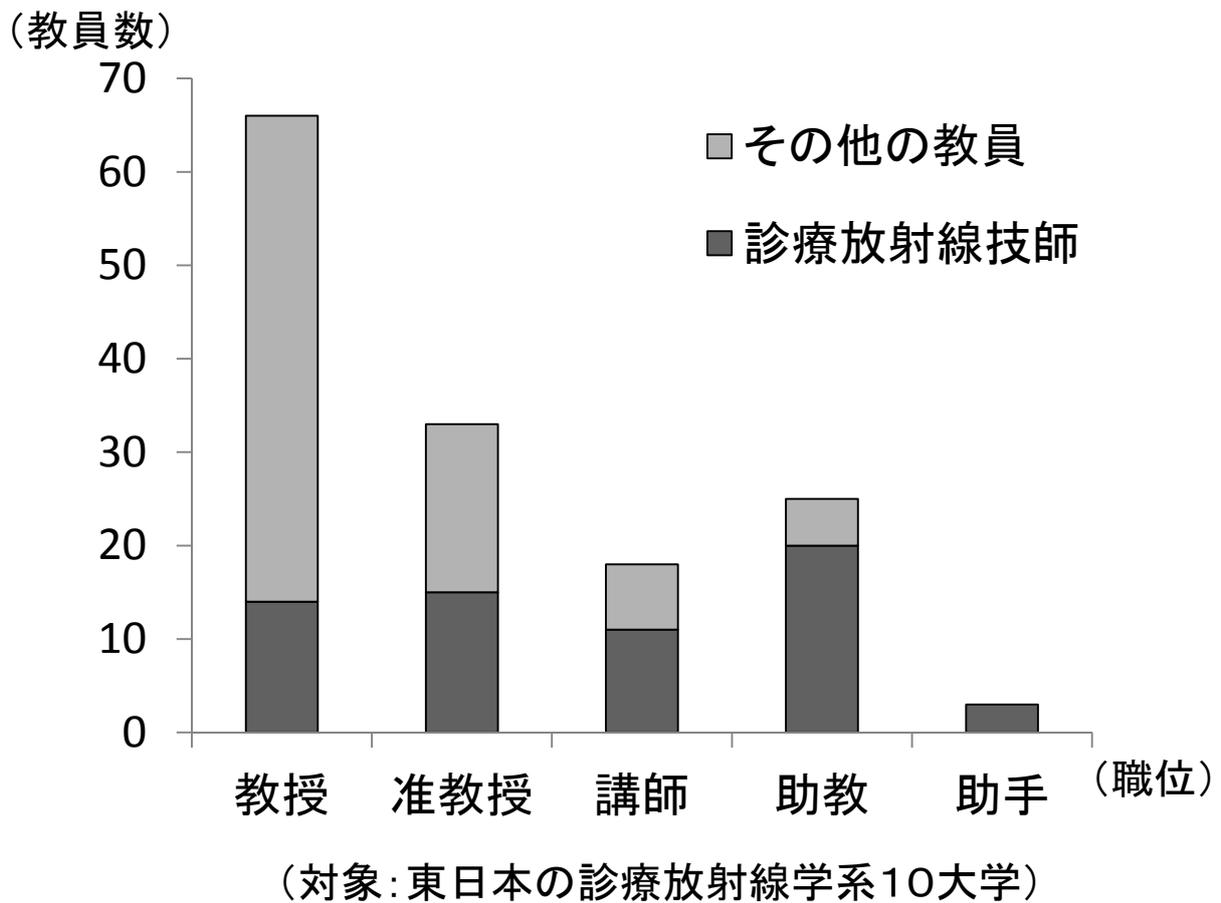


※対象 : 本学大学院修士課程修了者
※調査時期 : 平成26年3月
※回収数(回収率) : 10部(100.0%)

資料16 国内の診療放射線学系大学院 博士後期課程の設置数の変遷



資料17 診療放射線学系大学における 診療放射線技師免許所持教員数



資料18 医療従事者養成教育の4年制大学化率 (平成25年5月1日現在)

| 職種名* ¹⁾ | 養成機関* ²⁾ | | | | | 大学化率 (=a/b) |
|--------------------|---------------------|----------|-----------------|---------|-----------|----------------|
| | 大学 (a) | 短期 大学 | 専修・ 各種 学校 | その 他 | 合計 (b) | |
| 133 看護師 | 210 | 24 | 692 | 82 | 1008 | 20.8% |
| 141 診療放射線技師 | 29 | 1 | 16 | | 46 | 63.0% |
| 142 臨床工学技士 | 13 | | 43 | 3 | 59 | 22.0% |
| 143 臨床検査技師 | 1 | 5 | 26 | | 32 | 3.1% |
| 144 理学療法士 | 87 | 6 | 181 | 2 | 276 | 31.5% |
| 作業療法士 | 65 | 4 | 121 | | 190 | 34.2% |
| 145 視能訓練士 | 8 | | 26 | 1 | 35 | 22.9% |
| 言語聴覚士 | 19 | 1 | 52 | 4 | 76 | 25.0% |
| 146 歯科衛生士 | 8 | 12 | 133 | | 153 | 5.2% |
| 147 歯科技工士 | 2 | 2 | 48 | 1 | 53 | 3.8% |
| 柔道整復師 | 13 | 1 | 162 | | 176 | 7.4% |

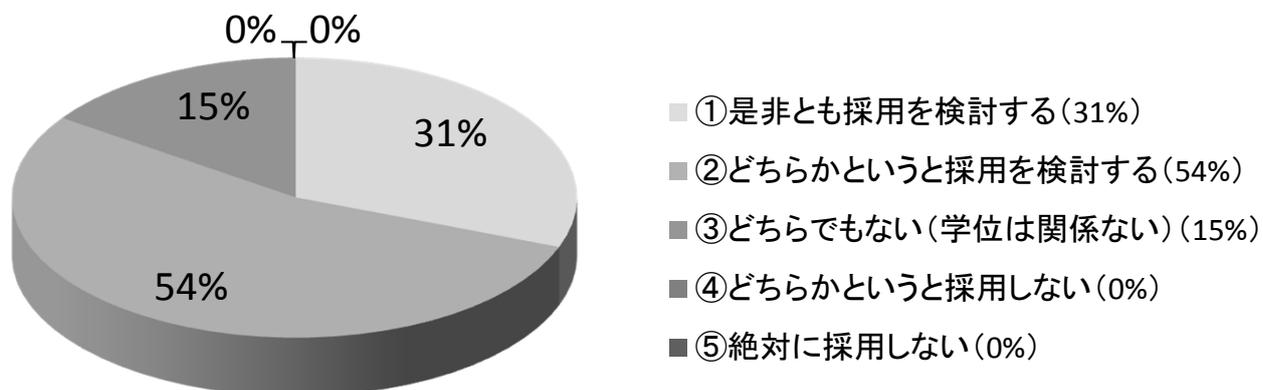
*1) 職種名、職業番号:総務省統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所
日本標準職業分類(平成21年12月統計基準設定)に基づく

*2) 養成機関数:文部科学省・文部科学大臣指定(認定)

医療関係技術者養成学校一覧(平成25年5月1日)に基づく

資料19 実務経験のない博士号取得者 に対する社会的需要 (大学病院技師長へのアンケート調査結果)

実務経験のない博士号取得者の採用を検討するか？



※調査対象者 : 本学近隣県(関東甲信越地域)の大学病院診療放射線技師長14名
 ※調査時期 : 平成27年6月
 ※回収数(回収率) : 13部(92.9%)

「①是非とも採用を検討する」、「②どちらかというを採用を検討する」の主な回答理由・意見

- ・大学院での研究成果や研究方法を病院の臨床研究推進に役立ててくれるとの期待がある。
- ・今後の伸び代に期待が持てる。現在職場内に博士号取得者がおり良くやっていると評価している。診療放射線技師の社会的な身分の確立には是非必要だと思っている。
- ・病院内には現在、社会人で博士後期課程に在学している者が複数名いる。学位の必要性について部内での認識は非常に高まっている。
- ・当院では大学院に在学している者が複数名いるという現状がある。大学病院の基本は研究よりも診療が優先されるため、大学院で専攻した分野を極めたいと願ってもすぐに応えられない状況を理解していただければ採用を検討する。
- ・就職試験で重視することはアカデミックな面と人柄である。大学病院では単に臨床のみでなく学術面と先進医療に目を向けている。その素地を持っている博士号取得者には興味と期待を持っている。
- ・当院は年齢制限を設けていないので歓迎する。将来、教育者を目指す上でも臨床経験を積むことは必要である。
- ・当院では年齢や学歴をあまり重視しないが、人間的に同等なら学歴の高い方を優先する。修士修了で採用した者が複数名いるが、仕事に対しての熱意や向上心は学部卒よりも感じられる。

「③どちらでもない(学位は関係ない)」の主な回答理由・意見

- ・採用に関して特に重視しているのは学位の有無よりもコミュニケーション能力と本人のやる気である。博士号取得の動機がやる気の証明として映るのであれば有利になると考える。